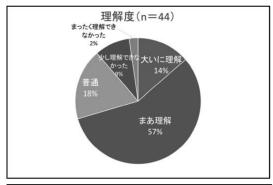
# 科目別アンケートの実施結果

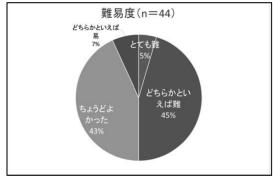
カウンセリング能力、教員学習指導能力、学級運営、質保証基礎の各科目のアンケートでは、理解度、難易度、役立ち度の3つの視点について、6段階で評価してもらった結果をグラフで示した。

### ■ カウンセリング能力



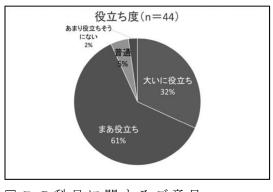
### □理解度

7 割の受講者が理解できたとしているが、理解できなかった受講者が 1 割強いる。



# □難易度

"難しかった"と"ちょうどよかった"が約半々となっている。



### □役立ち度

役立ちそうだと感じている受講者 が 9割以上である。

□この科目に関するご意見

### ▶ 役立つ・理解できた

- これまで数々の学校教育相談に関する書物や雑誌などを読んできましたが、今回はちょっと切り口の違う、聴いて「なるほど」と思える深みのある講義で今後の学校経営にも大いに役立つと感じました。
- カウンセリングの基本的な考え方を改めて学ぶことができてよかったです。
- ・ カウンセリング第 3 回 の講義説明を理解するのにやや時間がか

かった。しかし、相手になりきること(共感)が重要であること が良く分かった。

- したい、してるつもり等ではなく本当に出来ているか、取り組んでいるかに留意しながら学生に携わります。
- まさに大学の授業そのものであり、常日頃無意識に行っていることに対し、理論を教えて頂いた。
- 専門学校における学生との接し方、周辺言語、非言語表現等から 察することの大切さを今後の授業に生かしていきたいと思います。 また共感を早計しないよう心がけます。
- 非常に考えさせられる講義でした。明確な結論に至ることができなかった(できない)ので、今後も考え続けたいと思います。
- ・ 面談はインタビューであるという点が非常に腑に落ちました。共感ということの本質を知ることでその難しさを知り、しかしそうするために、努力が必要であることを学びました。日々、面談でどう答えればよかったのかと思い悩むこともあるので、今後に活かしていきたいと思います。
- ・ 前職が営業職だったため、コミュニケーション講座等の内容に近い箇所もあり、比較的に頭に入りやすく感じました。

## ▶ 講座の内容・構成について

- ・ 2回目の資料に載っていた否定に関する内容が、3回目の冒頭に説明があった為資料と講義がマッチしていた方が理解しやすいと感じました。
- 多少時間が長いと感じられた。
- カウンセリングの具体例などの資料があるとより理解が深まるのではないかと感じます。
- きく、こたえるは、分かりやすかったです。わかるは、言いたいことが少ないため、コンパクトにするか、先生の経験してきた事例を説明しても良かった気がしました。でも、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ その3 共感についての説明は複雑だった。
- 専門用語や、含みのある話し方で、わかりやすいとは言えなかったが、雰囲気的には、理解できた部分があると感じた。
- 講義では専門学校に向けている事を意識しているような話もありましたが、内容としては教育心理学に基づく一般的な話に終始しており、専門学校の学生の特徴を捉えた観点が無かったので、できれば具体的なケーススタディがあるといいと思いました。

- ・ 第 2 回について。講座公開時には修正されると思いますが「こた える」の漢字表現が途中から逆転していました。念のためお伝え しておきます。「こたえる」は日本語だと同じ音になってしまうの で、個人的には英語標記がわかりやすかったです。
- 第2回の答えると応えるの理解が難しかった。この使い方の事例が多くあると理解しやすいと感じた。
- 内容が大学の講義のようで、やや実践的ではないと思うが、カウンセリングについての理論を学ぶ講座と考えれば腑に落ちる。
- 3回分の時間をかけて行うのであれば、もう少し具体的なカウンセリング手法についても言及されていると、なおよかったと思います。
- ・ 否定しないについて第3回の冒頭に復習として入っていたが、第2 回の中に入っていた方が良かった。

### ▶ 映像について

- 学修内容ではないが、動画を撮影した部屋の外の話声が聞こえるのが気になりました。
- 他の教室で行っていると思われる授業の音声が少し気になりました。
- ・ 音声に撮影場所の雑音 (話し声) が入っており、やや気になる。

### ▶ 難しかった

- ・ ①は理解しやすかったが、②、③になるにつれて話が難しく理解 するのが困難だった。私の知能レベルの問題ではありますが、も う少しかみ砕いて分かりやすい授業にして欲しいです。
- ・ "話の主語述語がバラバラで、理解し辛い部分が多かったです。
- ・ こちら側で考えて解釈することで理解度は深まりましたが、何度 も動画を再生しました。すみません。"
- ・ 「肯定する」、「肯定しない」、「否定する」、「否定しない」の違い が理解できたか不安である。

# ▶ 役に立たない

・ 講師の方が専門学校の事をどれだけ理解しているのかはなはだ疑問に思いました。今の専門学校で問題になっている学生は、小学校、中学校、高校で放置されてしまった学生で、その先生方が解決できなかった問題です。それを、教育の専門家 (教職課程を経ていない)ではない専門学校の先生に押し付けるのは危険だと思います。カウンセリングと面談は大きくその目的が異なっていて、そのことも理解されていないようなのであまり意味のない講義だ

と感じました。

難解な善問答のような部分があって、哲学的な部分は不要ですので、思い付きの話をするのではなく、論理的構成をすっきりとさせて話してほしいと思います。暇な大学生なら許されるかもしれませんが、時間のない先生方には無用だと感じます。

面談にしても様々な段階を踏みながら行っていきます。また、その学生に接している複数の先生方とも情報交換しながら総合的に見つめていきます。この人はこうだと決めつけることは到底できないこともよくわかっています。

面談では解決できない場合は、本格的なカウンセリングになります。この場合は、専門のカウンセラーにお願いすることになります。問題が深いからです。特に家庭問題など。

専門学校でも、悩みながらいろいろな取り組みをしておりますの でその辺のことを理解されてからでないと時間の無駄になると感 じました。

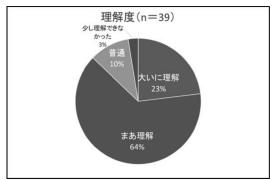
### ▶ その他

- カウンセリングの基本について丁寧にお話しいただきありがとう ございます。
- なんとなくでやっていた事の裏づけが出来たような気がします。ありがとうございました。
- "カウンセリングの基本的手法について学ぶことができた。今後の 学生指導・支援には欠かせない知識とスキルとなるが、これをい かに実践するかが課題だと思う。頭では分かっているが。。。
- ・ 学生を理解できた・共感したなどと軽はずみなことは決して言え ないと思う。理解しようという努力を続けようと思う。

大志は持っているが、簡単にできることではないと後回しにして きたというか諦めていたが、そこに繋がる小さな一歩を照れずに 始める後押しをもらえた。

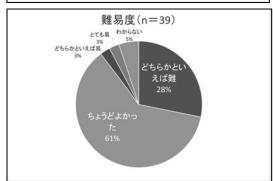
対学生としての学びに止まらず、自分自身の成長に繋がる素晴ら しい学びができました。

# ■ 教員学習指導能力



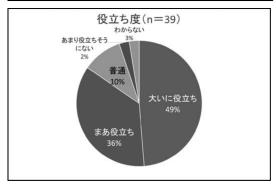
## □理解度

8 割以上の受講者が理解できたとしている。



## □難易度

"難しかった"と感じた受講者が 4分の1いる。



# □役立ち度

役立ちそうだと感じている受講者 が8割以上である。

## □この科目に関するご意見

### ▶ 役立つ・理解できた

- 授業研究会の在り方は目から鱗が落ちた思いでした。ありがとう ございました。
- これまで教員として取り組んできた自分自身をふり返る機会を、 ぜひ持ちたいと思います。
- ぜひやってみたいと思いました。
- とても興味深く学べました。ありがとうございました。
- 医療の教育現場にいるが、医療も教育現場も沼地であるということが、とても納得した話でした。以前、生きてきた医療の現場と 共通した部分もあり、今後につながると感じました。
- ・ 改めて自分自身を振り返ることができました。ありがとうございます。
- ・ 学習指導に関する知識だけでなく、それを向上させるための取り

組みについても言及されていて、非常に良かったと思います。

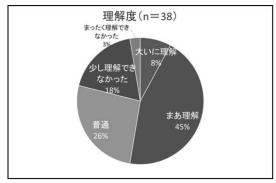
- 具体的な話が多く、実際に自分だったらと落とし込みやすかった。
- 現場の実態を意識された講義でした。
- ・ 講師の先生の内容も非常に分かりやすく気づかされることがたく さんあり、とても良かった。
- 今後ご提示いただいた研修が開催されれば、是非参加させていた だきたいと感じました。
- ・ 三輪先生の話がとても興味深く、また今まで受けた研修で教わったこととかなり異なる内容でしたが、考え方はとても共感できるものでした。1年間授業をしてきて、授業の運営の仕方や資料作りにばかり目が行きがちになっていましたが、あらためて自分がどのような教員になりたかったのかということを考えるきっかけになった講義でした。
- ・ 私は先生の意見に大賛成です。学校は市場原理に踊らされていては、最終的に淘汰されると考えます。最後に選ばれるのは、本当に大切な本質をおろそかにせず、常に理想の職業人を養成する目的のために力を注ぐ教員集団(学校)だと思っています。しかし、本校も例外に漏れず損得勘定の市場原理を重要視する職員・教員でかためられてきています。教育の理想を追求している学校があるなら、即転職したいほどです。ご教授ありがとうございました。
- 実例を交えた話で、理解度が増しました。ありがとうございました。
- 省察の必要性を改めて感じました。具体例などがあればもっと助かります。
- 日常生活の中で感じている課題と共に受講できた点が多くありました。周りの人をどのようにして巻き込んでいくかが課題です。
- ・ 面白い科目で、教員に対してインパクトを与え、考える場を提供 していると思いました。長さも適切だったと思います。
- 様々な学生を指導する中で、過去の経験の中から学生を分類し経験をもとに指導しがちでしたが、実際には同じ学生ではないので当てはまらないことも多い。まさに学び続けることが大切だと感じました。

### ▶ その他

・ 具体的な how to を研修しているのはないので、すぐに役立てることは難しいと思います。私立学校ですので、経営者からの要請という事も考えねばならないので、本当に、泥沼をあえぐような気

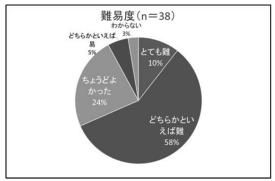
持ちです。また、過去には、専修学校は技術教育のみでも成立していた。しかし、昨今の状況を見ると、中学や高校などもその重要な位置を持っているので、教員間の連携をとれるような社会的なシステムがあると良いと感じている。

## ■ 学級運営



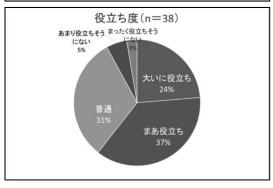
## □理解度

約半数の受講者が理解できたとしているが、約2割が理解できなかったとしている。



## □難易度

"難しかった"と感じた受講者が 約7割である。



## □役立ち度

役立ちそうだと感じている受講者 が約6割である。

## □この科目に関するご意見

### ▶ 役立つ・理解できた

- 「学級」を「学校」に代えて講義や課題に取り組みました。示唆 に富んだお話しが聞けました。今後の学校運営に生かしていきたい。
- ・ 一番最後に聞いたせいではなく、「百姓は田を作る。米は田がこしらえる。」が一番印象に残りました。学生に学ぶ姿勢を身につけさせることが出来れば、就職後も学び続け成長し、社会貢献できるということですよね、改めて、学校は知識を修得させるのみならず、人間共育の場だと確認できました。ありがとうございました。
- 学級運営をしていくにあたって、学級を構成する個人に目を向け、 そして学級を含む学校(組織)としてどうあるべきか、その双方 向からのアプローチが重要であると感じた。またそれに対しどう 学校として共通認識を持たなければいけないか、今後の課題にし

ていこうと思います。

- 教員だけでなく学生の目線からも考えられるようになりたい、そのために必要な知識だと思いました。
- ・ 個には着目しやすいですが、学級という集団にはあまり意識が向きにくかったと感じました。学級という集団を考える良い機会となりました。
- ・ 個別指導、道徳教育、学級活動、教育学習の 4 つのエリアから構成される生徒指導モデルが大変わかりやすく、斜めに軸を取ることでグレイゾーンを設けている点がとても印象に残りました。特に本校における課題、私自身の課題に対応できた点もとても参考になりました。
- ・ 百姓は田を作る、米は田がこさえるという言葉に感銘を受けました。
- ・ 合意・共有・自主的・主体的など言葉先行ではなく、目の前の学 生に合わせた対応ができるように努めたいと思います。

### ▶ 課題は大きい

・ 学生を取り巻く現状が浮き彫りにされ、学びの場としての学級運営、学生の相互関係づくりの難しさが実感できる内容であった。 専門学校には、とくに自尊感情や自己有用感の乏しい学生が多く、 このような多様性を持った学生たちを勇気づけ、いかに結びつけていくか課題は大きいと感じた。また、学校としての共通理解として、教員の共通理解はもちろんのこと、私学を中心とした専門学校では、まずはトップを巻き込まないと難しい。

## ▶ 難しかった

- ・ まず私にまだ学級運営の経験がないため、そこに存在する具体的な問題や課題がわかっていないことが内容の理解を難しくしていました。大隅先生の言われていた共同性の問題や、学生の相互関係の課題の本質は、むしろ小学校から大学・専門学校まで共通したものがあると思います。しかし、集団としての目的が、義務教育なのか教養教育なのか、または職業教育なのかにより、問題や課題へのアプローチが大きく異なってくるのではと思います。なので、その辺の具体的な事例の話が聞けると、もっとわかりやすいものになったかと思いました。
- とても興味深い内容であったが、少し見解が難しく時間を要しま した。
- 事務職員のため実務で現状に接することがないため難しいと感じ

ました

- 難しい言葉や聞いたことのない言葉が多く、理解するのに時間が かかりましたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 例示が少ないため、イメージしにくいかったです。すみません。 上手くいく事例ではなく、上手くいかなかった事例の方が役立ち、 応用できる気がします。

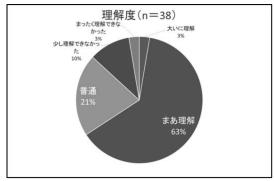
## ▶ 役に立たない

・ 今の私の学校の体制では、担任制をしていますが、目的は個別の学生を大切にするためで、集団活動を行うことが目的ではありません。そのような活動がないわけではないが、そこはあまり重要視していない。特に18歳を超えて、これから就職という場合に様々な問題に直面する学生の個々をしっかりサポートするためです。専門学校に入学する学生は、それなりに目的意識を持っているので、過度の介入は不要だと思います。また、自立の面からも。従って、今回の講座は、少し的外れな部分が多かったと感じました。

### ▶ その他

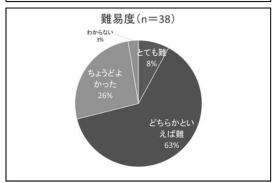
- 教員ではない私が、このような講座を受講するのは、大変もったいなく、申し訳ありませんでした。内容は、極めて興味深いものでした。
- 具体的な話が多かったので、内容の理解はしやすかったが、実際 に自分に当てはめるのが少々難しかった。
- 弊校は少人数のクラスもあり、人数によって何か変わる部分が出てくるのでしょうか?
- 目から鱗の講義でした。ありがとうございます。
- 文献がなかなかヒットせずに探すのが大変でした。

# ■ 質保証基礎



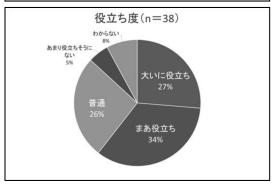
### □理解度

約 6 割の受講者が理解できたとしている。



### □難易度

"難しかった"と感じた受講者が 約7割である。



## □役立ち度

役立ちそうだと感じている受講者 が約6割である。

## □この科目に関するご意見

### ▶ 理解できた・良かった

- ・ 管理職向けの内容だと思います。しかし、一般教員として評価について知ることは、授業の質を向上させることの一助にはなると思います。すぐに役立つ内容ではありませんでしたが、学ぶことができて良かったです。ありがとうございました。
- ・ 大変興味深く拝聴しました。特に川口先生の講演は素晴らしく、明確に理解できました。一方理屈では分かっているつもりでも。 具体的な話となると、第3回の問題演習等で間違えた部分など、まだまだ理解不足を感じざるを得ません。本研修は極めて有効な組立と思います。
- ・ 現在の高等教育全般に関する社会的な認識や、専修学校の位置づけ、また法的な位置づけや認定の要件が理解できたのは良かった と思います。また、教育の質に関して、エビデンスを残すという

観点からどのような事を行っていく必要があるのかという事も明確になりました。

- 社会が大きく変わりつつある中で学校として何をすべきなのかを 考えていく大きな柱となる科目であると感じました。
- ・ 専門職大学と一般の専門学校が置かれた環境や、社会から認知を 受けるための専門学校の存在価値、その取得のためのプロセスに ついて学ぶことができた点がとても有意義なものでした。同時に 本校において危惧する点も多く発見することができました。
- ・ 専門職大学構想と職業実践専門課程成立の過程が相関的に説明され、概要がわかりました。
- 第三者評価のスケジュールや作成しなければならないものなどがよく分かった。知識確認テスト内容も自己評価作成において役立つ。
- ・ 当校は専門職大学を申請を現在見合わせているが、将来的に自身の専門学校の質保証をどうしていくか、またその流れを初めて知ることができた。今後、何かしら関わっていくことが考えられるため、勉強になりました。
- 難しい内容ですが、第三者評価の知識を知るきっかけになりとて も勉強になりました。情報量の多さをこれからどう処理するか、 時間をかけて取り組もうと思います。

#### ▶ 質保証の効果に疑問

・ 1回目の講義については無理やり質向上を言いたい論理だったような気がして、あまり論理的には納得できな部分が多かった。質保証制度については考えるところもあるが、それが本当に高校にアピールになるかであり、結局、募集に繋がらなければ意味がない。私自身が感じる高校の進路指導自体に疑問を持つことも多く、特に第3者評価を高校の先生方に認知してもらえるのかという疑問は払拭できない。専門学校は、様々な高校生の受け皿として、今、存在している。一部では、高校の後始末をしている状況となっていて、大変な思いを先生方はしている。本当に変わらないといけないのは高校ではないでしょうか?

#### ▶ 構成について

- ・ 演習問題が選択式なので、答えやすくて良かった。あと、、何回も繰り返し演習問題を解くことが出来て、理解しやすいと感じました。
- ・ 第 1 回の理解度確認テストで、穴埋め問題なのに問題文がなく、

回答できない箇所がありました。

・ テストの内容ですが、2回・3回については、講義内容やスライドには無く、狙いがわかり難い点があると思いました。

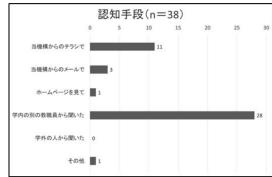
# ▶ 自分には不要

- 一般の講師である私にとって、必要な知識であるかもしれませんが、どのようにして第三者評価を行うかなどはあまり必要のない内容であると感じた。
- · 学校運営に関与していない私にとってはあまり意味のない講義で した。

### ▶ その他

- ・ 少々理解不足でした。ありがとうございました。
- ・ 仕組みが理解できました。

# 全体アンケートの実施結果



全体理解度(n=38)

いに理解で

まあ理解でき た 55%

きた 13%

る。 □2.この講座の学修内容は理解でき たか

68%の受講者が理解できたとして いるが、理解できなかったとしてい る受講者が 16%いる。

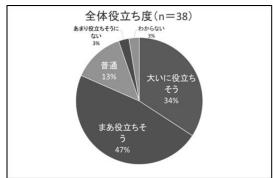
□1.この講座を何で知ったか

"学内の別の教職員から聞いた"

がダントツに多い。次が"当機構か

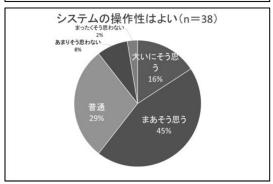
らのチラシで"だが、チラシで知っ

た人が伝えたという流れが推測され

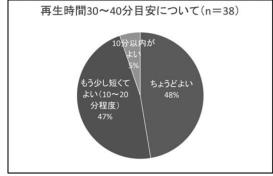


□3.この講座で学修したことは役に 立ちそうか

約8割の受講者が役立ちそうとし ている。

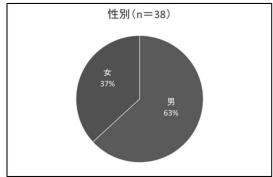


□4.システムの操作性はよかったか 約6割の受講者が操作性はよいと しているが、そう思わないとしてい る受講者が1割いる。



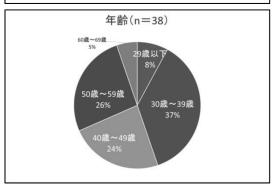
□5.動画の再生時間は 30~40 分で よかったか

"ちょうどよい"と、"もう少し短くてもよい"が半々である。"10 分以内がよい"もある。



### □10.性別

男女比は 6:4 で、やや男性が多い。



### □ 11.年齢

30 代が一番多く、40 代、50 代が 次に多い。

□6.動画再生時間についての意見

## ▶ 20 分

- ・ 20 分前後が最も集中できて良いような印象である。そのために資料をわかりやすく要約する必要があると思うが・・・。
- 短期間での空き時間での受講となれば、15分から20分がありが たいです。

# > 30 分

- ・ 30 分程度のものは問題ないと思います。
- ・ 30 分を基準にして頂いたので、集中力を持続することができた。
- ・ 30 分以上のものは長く感じた。業務の間に受講することが難しかった。一方的な講義なので、長時間はつらい。30 分程度が目安だと感じた
- ・ 実際に受講してみて、1本の動画再生時間は30分が限度で、これを超えると厳しいと感じた。
- ・ 集中できるのは、30分が限界かと思います。30分ぐらいで動

画を作成していただくと、効率的かと思います。

### ▶ 良い

- コンパクトで良かったと思います。
- ・ 適度な長さでいいと思います
- ・ 講義としての時間は適切です。
- ・ 様々な合間で動画を再生することが多かったので、30分程度の再 生時間はちょうど良いと感じた。
- ・ 仕組みが理解できました。

# ▶ 時間圧縮・再生速度アップ

- YouTube の再生速度 1.5 倍で視聴して丁度よく感じました。
- ・ 今回の講座に関しては、セミナー等の講義をそのまま移植しているが、可能であれば専用画面を作成し、時間の圧縮を行った方が良いかと思われます。
- ・ 動画の URL をコピーして youtube で別に再生しました。理由は再 生速度を速めることができるためです。
- どのような状況で動画を作成されているのかわかりませんが、座 学の講義を収録しているのではなくオンライン学習用として収録 しているのであれば、編集により間を調整するなどの工夫があっ てもいいと思いました。
- 1時間近くあるのは見るのがちょっと大変でした。
- ・ 講座の内容にもよりますが、もっと短くても良かったと思います。
- 一気に見るには、もう少し短い方がいいが、あまり短いと、内容 がなくなるので、難しい所。
- ・ 質保証の第一回目、50分の動画は内容も多くてとても大変でした。

### ▶ その他

- スマートフォン等で閲覧できるため移動中でも勉強できるといわれていたが、1本あたりの内容が多いので、移動中に閲覧しようとすると何度かに分割してみることになる。また、移動中はメモも取れないため、冒頭にあった説明の内容を忘れてしまうことがあり、結局自宅で見ることになった。
- 大学の先生方の講義を居ながらにして受けられるメリットはかなり大きいと思います。
- ・ 同じ再生時間でも、講師の先生により内容の密度に差があるため、 時間では一概に適切さを判断できないと思います。
- ・ 特定の講師による経歴や著作を含む自己紹介に有する時間が多い 気がしました。

## □7.追加してほしい科目や学修内容について

### ▶ 追加希望科目

- ・ 学生対応方法(メンタル面)、コーチング、学生との面談の仕方。最近の学生とどう関わっていくかのヒントとなるものがあればと感じました
- 講義の手法について解説してくださると実務に直結して良いと感じました。
- ・ 学校経営上の諸問題、危機管理などもあれば管理職としてはあり がたい。
- 『カウンセリング能力』がありましたが、具体的な、学生、保護者向けなどもぜひお願いします。
- ・ ICT 環境について
- ・ わかりやすい授業の方法について
- ・ 今回の講義にも多々出てきましたが、世の中で教えている社会学 を学びたい。教育や観光にも多分に共通するところが多いため。
- ・ 授業実践の講座などがあると聞いてみたいです。

### ▶ 事例

- 事例報告ではなく事例研究の発表など、実践的なものを学びたいです。
- ・ いじめ問題、現代の生徒・学生の傾向(小中高専門大学別)と対 策の具体的な事例。
- 学生指導における実例集。確かにアカデミックな理論も大切かも 知れませんが、専門学校では本当に学生個人を指導していくため、 こんな学生はこのように指導したよという実例集の方が役に立ち ます。
- 専修学校におけるアクティブラーニングやグループワークの導入 事例などがあるともっといいと思いました。特に、自分の所属す る電気工学科など。前提となる知識が多く必要な分野でどのよう にアクティブラーニングが実施されているのか参考にできる事例 があると助かります。
- ・ 専修学校学生の指導における実際
- 第三者評価の実務・評価基準につき、「質保証基礎第3回」の演習にあったような、具体的な内容をご教授頂ければ幸いです。

## ▶ その他

・ 講座によっては教員のみ、職員のみを対象にする内容があると思

うので対象を明記していただけると自分にあった講座を選択でき、 より深く学習できるのではないかと感じました。

- ありません。
- ・ 資格取得に重点を置き、実力の伴わない卒業生を輩出することへの危機感を感じています。「質」の重要性を、講座や研修等で強く広めてほしいと思います。
- ・ 特になし
- · 今回の3テーマでいいと思います。

### □8.オンライン学修システムについて改善の要望

# ▶ システム

- カウンセリング・教育学習指導能力・学級運営の項目で演習問題を送付してもチェックされていない状態になります。
- ・ 左側のメニューだけでは、どこに何があるのかよくわからない。 また、今回の受講に当たっては不要なものが多すぎる。カテゴリ ごとにグループ化していただき、アイコンを分けるとよい。また、 不要な項目が多い理由はよくわからないが、ほかの用途で使うユ ーザとページを共用しているのであれば、その属性ごとにメニュ ーを変えるなどの工夫が必要だと感じた。

### ▶ 映像機能

- 動画にチャプター再生があれば、振り返りがしやすいと感じた。
- ・ 動画再生スピードの調整

# スライド

- スライドの画質が悪い箇所があり、PDFの画面と切り替えながら 見る必要があり、集中できなかったところが何か所かありました
- スライドの文字の色を変えるなどして、どの項目について分かる ようにしてほしかった。
- スライドのセンス・文字以外の図などの提示(ただ文字や内容を 羅列するだけだと印象に残りづらかったです)

## ▶ 画面

- オンラインだとなかなか講師の顔もはっきりしないので、インパクトが薄い。画面を工夫して分かり易くししないと、注意が散漫になってしまう。
- 講座収録時の講師映像は不要

## ▶ 音声

・ 周りの音声が耳障りとなった場面もあったので、もう少しマイク

を工夫していただけるといいと思います。

- ・ 撮影場所が問題なのか講師が話す声が部屋に響き良く聞き取れないことが多くあったので撮影に関しては録音状況を最適にすることを望む。
- ・ 講義全体を撮影している形のため雑音が気になりました。難しい とは思いますが、タイピング音や別教室の音がもう少し小さけれ ばより講義に集中できるのではないかと思います。音声が改善さ れれば、さらに倍速再生機能などで時短学修が可能になり、より 効率よい学修が可能になると思いました。
- 動画の音声が聞き取りづらかった点が残念でした。音量が小さい、周囲のざわつきが聞こえる、音が割れているなどを感じました。
- 動画の音声が聞き取りにくいものがありました。こちらのパソコンが悪い可能性もありますが、内容が聞き取りにくいものがありましたので、改善していただけたらと思います。
- ・ 動画を収録されている環境について、改善の必要性を感じる。オンライン学修システムでは、普段はあまり気にしない話し声や PC のキーボード音などの生活音ですらも、雑音として耳障りに感じてしまう。なぜか気になって、つい集中力がそがれてしまう。

## ▶ 役立つ

- ・ 初めての経験なので新鮮でした。教職員の資質能力向上のための 有効な手段だと思います。
- ・ 学ぶ場が多様化している現状であり、今後も継続してオンライン 学修システム自体は大いに必要であると考える
- 自宅でも学習できるのでいいと思います。

# ▶ その他

- このままでも良いです。
- 期間が年度末のため短く感じました。できれば夏休みなど休みが 利用できる時期がよかったと感じました。
- ・ 特になし

□9.(教員の場合)あなたが受け持っている科目名、(職員の場合)あなたの主な職務

受講者の属性としての、担当科目(教員)、担当職務(職員)は、以下のとおりである。

## ▶ 医療系教員

• 医師事務作業補助関連全般

- 運動学
- 作業療法士科 専任教員、身体機能運動学Ⅱ、身体障害作業療法 評価学Ⅰ、身体障害作業療法評価学実習、生理学実習、神経障害 学、身体運動機能学実習、身体障害作業療法学、身体障害作業療 法学実習、作業療法総合演習Ⅱ、作業療法学特論、作業療法学特 論演習、理学療法障害学特論演習
- 障害別リハビリテーションアプローチ
- 物理療法学、日常生活活動学、運動療法学、骨関節障害
- ・ 理学療法評価学(実習)、運動療法学(実習)、義肢装具学(実習)、 職務:理学療法士の資格を持った専任講師およびクラス担任
- ・ 基礎解剖生理学・運動機能解剖学・理学療法教育論・骨関節理学療法学・基礎臨床医学

## ▶ 衛生系教員

- 衛生管理
- 美容技術理論、美容実習、メイク技術
- · 美容文化論·美容実習·美容技術理論
- 理容技術理論 理容実習、文化論
- ・ エステティック
- ・ネイル

### ▶ 工業系教員

- ・ システム設計、ハードウェア、C言語、Java、Windows プログラミング、Linux サーバー構築、資格対策、卒業制作
- ・ 施工学、社会基盤、ワークショップ、安全教育実習、施工管理演習、土木工学、情報処理、総合演習、CAD 製図
- ・ 電気工学科の教員。経験年数は1年と数か月。電気製図、電気磁 気学、技術英語、電子回路、電気設備設計、電気数学、初蓄電シ ステム設計など。担任業務
- ・ 情報処理関係の基礎科目と入門的な実習科目、IT技術基礎、ア ルゴリズム、パソコン実習、教務部長
- ・ 不動産学(宅建対策)ほか。

## ▶ 商業実務系教員

- ・ ウエディングプランナー演習、ブライダル業界研究、ブライダル 企業研究、ブライダルプロジェクト(卒業研究)
- ビジネスマナー、担任
- ・ 観光概論、企画提案、観光マーケティング、世界地理、インバウンド観光、日本地理、地域観光、ビジネスベーシックスキル、国

家試験対策、旅行業法、旅行業約款、国内旅行基礎、日本文化と 歴史から学ぶ観光 (一般教員)

# ▶ 職員・管理職

- · 校長
- ・ 学園事務部長。学園財務・総務・人事・事務等の統括
- 学校事務全般
- 教務業務
- 事務一般
- ・ 就職および学生生活に関する相談業務

## □12. ご意見・ご要望等

### ▶ オンライン学修に期待

- 教員としての資質能力向上について、もっと深く学びたいと思いました。特に、前の項目にも書きましたが、これからの教育に必要な、アクティブラーニングやグループワークの技法について習得できるオンライン学習があれば、受けてみたいです。
- ・ 隙間時間に動画を見て行うことが多く、定期的に時間を決めて実施することはなかなかできなかったです。これは教員の仕事の関係上、仕方ないことですが、動画再生および復習の時間で30分以内で完了するシステムであれば定期的に実施できそうだなと感じました。中身自体は本当に勉強になりました。まだまだ不足事項だらけなので、これから学習を進めていきます。このような機会を与えて頂いて感謝いたします。本当にありがとうございました。
- ・ 昨年、別の 3 週間の教員研修に参加することができましたが、普 段の煩雑な毎日で教育というものに対して研修を受けるというこ とが、なかなか出来ない現状があります。その中で、こうしてオ ンラインで講義を受講できるというのは、良かったと思います。

# ▶ 良かった

- ・ よい取り組みです。今後の質の向上に期待します。
- ・ 企業から転職し教員となり、キャリアが僅かしかないため、とても勉強になりました。普段なかなか教えあう環境にないため、不安に感じることが多い中で、とても助けになりました。ただ今回の研修がキャリアが最も少ない私だけでなく、もっと多くの教員が受講できれば尚本校の改善、発展にも繋がるだろうとも感じています。社会との連携、社会からの認知、一専門学校としての価

値を学生のみならず社会に創っていかなければならないと感じま した。

- ・ 貴重な学習の機会をありがとうございました。ここで学んだことを、ぜひ今後の教育活動で1つ1つ実践していきたいと思います。 ありがとうございました。
- 初めてオンライン講義を受講しました。ストレスを感じることなく拝聴いたしました。川口昭彦先生の講義はシンプルに要点が絞ってあり、特に拝聴し易い講義でした。ありがとうございました。
- ・ 全体的にとても興味深い内容でした。業務の時間上、ゆっくりと 学ぶことができなかったことが少し残念でした。
- 大変勉強になりました。講義で教わったことの中には早速教育活動に役立つものも多々あり教職員に還元させてもらいました。

## ▶ 受講対象者を明記

- ・ オンライン学修につき、対象とする教職員の層や狙いを明確に示して頂ければ、当方から受講者を事前に選定することが可能かと思われました。私は、事務職員のため、実務的に理解が乏しい旨もあり、適切な本システムに関する評価が行えなかったと思います。大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。内容的には「気付き」が多数盛り込まれた良い内容ではなかったかと思います。専修学校の教員には、このような理論的なものを学ぶ機会をより増やすべきかと考えます。専任教員にも受講をさせたかったと思います。最後にこのような、学修システムの実証実験に参加させて頂き、誠に有難うございました。
- ・ その立場に合った研修であればなお良かったです。教員である私 にとっては、質保証の話などは、実務ではあまり使いません。
- 面白い内容のものもあったが、ためになるのであろうが、あまり 実感の持てないものもあった。

### 映像・教材の誤りチェックを

- 確認テストの範囲において、次のコマ内容が含まれている箇所が あったことがありました。
- ・ 事務職員なので、演習問題の回答が難しかったですが、大変勉強になりました。演習問題で、文章の( )に入れる語句を選択という問題で、文章が無い演習問題があったり、アクセスがサクセスになっていたりと誤字もあったりしたので、リリースされる前にチェックされたほうが良いかと思いました。大きなお世話かも知れませんので、聞き流していただけたらと思います。失礼しま

した。

### ▶ オンライン学修の限界

- オンラインでは、内容が伝わりにくいと感じたので、内容をかみ 砕いて説明した方が分かりやすいと感じた
- ・ モバイル向での利用を想定する場合、理解度確認テストは自由記述をなるべく少なくした方がよいと思います。
- 教育という明確な答えがでない分野でオンラインの特性上、ディスカッションができないという制約がある点が難しいなと思いました。

### ▶ その他

- ・ 今回の内容が役に立ちそうならば、他の教員にも進めようと思ったが、少し、アカデミックすぎてやめることにしました。教員も学生指導で、様々苦労していて、そのような問題を解決する手段があればと切望しています。高校の教員から見捨てられた学生などを受け入れて、必死に社会に送り出そうとしていますが、やはりなかな難しいものがあります。その様な問題を解決する手段があったら、また、是非とも教えて下さい。
- 今回は3日間で全てを聴講したため、問題も見直しややり直す余裕がなく、定着に不安が残ります。自由記載のものは、思うに任せて書きたいことを書いてしまいました。本当は時間をかけて参考図書なども読んで記載すべきと理解はしております。大変でしたが、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 今回初めて参加させていただきましたが、年度末ということもあり、すべての講座を受講することができませんでした。開講時期の検討をお願いします。ありがとうございました。